

HEART NET Vol.24

岩見沢市立総合病院 広報誌

2026年3月発行

ホームページ

<http://www.iwamizawa-hospital.jp>

写真:クリスマス・ロビー合唱コンサート
デイケア祭



TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください

はあとやっ

【特集】中央労災病院との経営統合
摂食嚥下支援チームのご紹介
デイケア祭のご紹介／クリスマス・ロビー合唱コンサート
[クッキング]イベントメニュー／編集後記

岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院は

令和8年4月1日に統合します

経営統合を目前に控えて

南空知医療圏の人口減少下における将来を見据え、持続可能な地域医療を支えていくための医療提供体制構築のため、令和3年7月に岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院との統合に係る基本合意を締結しました。両病院の統合を前提とした新病院をできるだけ早期に建設することにより、市内の急性期や救急医療を中心とする地域医療の維持・強化だけでなく、これまで以上に各医療機関などとの機能分担と連携強化を図り、圏域全体の持続的な医療提供の確保を目指すことといたしました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も患者数が回復せず、両病院とも非常に厳しい経営状況となったことで、新病院開院にあわせて経営統合するという前提で進めてきた計画が、新病院開院までにさらに患者数が減少し、医療スタッフの人材確保もいま以上に困難になるなど、それぞれが病院の機能を維持できなくなり、共倒れとなって地域医療が崩壊してしまうことが懸念されました。この地域の医療を守るためには、両病院をできる限り早く経営統合し、医療資源をいち早く集約して安定した経営基盤の確立を図ることが不可欠であるとの共通認識のもと、両病院の開設者による協議を経て「経営統合の前倒し」という大きな決断をし、令和8年4月に向けて協議・調整してまいりました。

今年度に入り、労災病院にしかない診療機能を、統合後も引き続き市立総合病院で実施するために施設の一部を改修し、また、職員や患者の増加への対応として、更衣室や診察室、駐車場の確保などについても不便を強いることのないよう整備しました。そのほかにも、労災病院からの職員受入れに係る雇用面の調整、電子カルテシステムの更新にあわせたシステム統合作業など、令和6年2月の検討開始から約2年という短い期間で、必要となる検討、整備を進めて、ようやく統合のかたちが見えるところまでできました。令和8年4月の統合後に、両病院の職員が力を合わせて地域医療を守っていく中で、一体感の醸成が図られることを期待し、令和10年秋の新病院開院に向けては、これまで以上に一丸となって様々な課題に取り組んでまいります。

統合後の標榜診療科

統合時点における医師数や専門医の配置状況、新病院で標榜を予定している診療科へつなげていくことも考慮し、令和8年度から**22の診療科を標榜します。**

- 院内標榜となっている
内科・外科の専門領域を細分化

**【新設】呼吸器内科・循環器内科・腎臓内科
透析外科・血管外科・乳腺外科**

- 労災病院の機能を引き継ぎ、2科を新設

【新設】リハビリテーション科・歯科口腔外科

現行(R7.4.1) 15診療科

1	内科	(総合内科) (一般) (糖尿病) (呼吸器) (循環器) (腎臓)
2	消化器内科	
3	小児科	
4	外科	(透析) (血管) (乳腺)
5	整形外科	
6	産婦人科	
7	耳鼻咽喉科	
8	眼科	
9	泌尿器科	
10	精神神経科	
11	麻酔科	
12	脳神経外科	
13	皮膚科	
14	放射線科	
15	形成外科	



統合時(R8.4.1) 22診療科

	1	内科 (総合内科) (一般) (糖尿病)
新設	2	呼吸器内科
	3	循環器内科
	4	腎臓内科
	5	消化器内科
	6	小児科
	7	外科
新設	8	透析外科
	9	血管外科
	10	乳腺外科
	11	整形外科
	12	産婦人科
	13	耳鼻咽喉科
	14	眼科
	15	泌尿器科
	16	精神神経科
	17	麻酔科
	18	脳神経外科
	19	皮膚科
	20	放射線科
廃止		形成外科
新設	21	リハビリテーション科
	22	歯科口腔外科

労災病院から引き継ぐ診療機能

現在、労災病院で実施している主な診療機能を統合病院でも引き継ぎます。

	① 歯科口腔外科	② 心不全・心臓リハビリテーション	③ 健診の内視鏡検査(胃カメラ)
部門	入院・外来	外来	健康診断
場所	本館地下1階	本館2階	市民健康センター1階
機能	診療室、技工室、 歯科用レントゲンなど	リハビリ室、トレッドミル、 エルゴバイクなど	内視鏡室、内視鏡検査装置など

統合後の病床数

【急性期・回復期病床】

- 新病院へのスムーズな移行も視野に、急性期病棟は7病棟・293床を稼働病床とします。
- 令和8年4月の統合時に、回復期リハビリテーション病棟38床を新設します。

【精神病床】

- 現在の115床を維持します。

【感染症病床】

- 現在の4床を維持します。

市立総合病院	現在(R7.10)		市立総合病院	統合時(R8.4)	
	病棟数	病床数		病棟数	病床数
急性期	8	324床	急性期	7	293床
回復期	—	—	回復期	1	38床
精神	2	115床	精神	2	115床
感染	—	4床	感染	—	4床
(休床)	—	31床	(休床)	—	24床
合計	10	474床	合計	10	474床

外来患者への対応

令和6年度の両病院の1日当たり外来患者数をベースに統合後の患者数を見込むと、現在の市立総合病院より300人以上増えて1,000人を超える見通しです。特に、内科・循環器内科・整形外科で大きく増えることが見込まれることから、診察室の増設や既存の診察室の有効利用で対応します。

院外処方の導入

市立総合病院では、令和2年度から障がい者施設5施設の入居・通所者を対象に院外処方を実施していますが、依然として大部分が院内処方となっています。一方、労災病院ではすでに院外処方へ完全移行しており、統合病院ではかかりつけ薬局を決めている患者さまへの配慮も必要になります。

新病院では、地域包括ケアの推進や、薬剤師の薬剤業務の「対物」から「対人」へのシフトを図るべく、院外処方へ移行することを決定していることから、職員もその運用に慣れ、新病院へのスムーズな移行につなげるために、令和7年10月から院内処方と併用で院外処方を導入しました。

摂食嚥下 支援チーム



摂食嚥下支援チームとは？

高齢化が進む中、脳卒中や認知症、呼吸器疾患などを抱える方が増えています。年齢と疾患の影響により、飲み込み機能が低下し安全に食事を摂ることが難しくなります。そのため誤嚥(ごえん)を起こす場合があります。そこで、入院早期からその人らしく安全に食事を摂ることができるよう支援するため、令和7年度に摂食嚥下支援チームを発足しました。

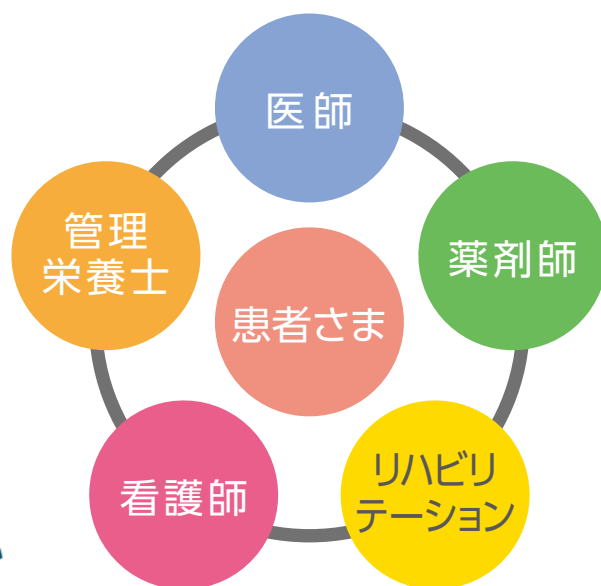
チーム構成員の紹介

チーム構成員は、耳鼻咽喉科医師1名、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師1名、看護師長1名、言語聴覚士1名、管理栄養士1名、医事課職員1名です。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師▶



摂食嚥下の実践に関わる
スタッフ役割の一例



摂食嚥下支援チームによる具体的なケア

入院患者さま全員に対して摂食嚥下機能の低下がないか評価を行います。その結果、摂食嚥下支援チームスタッフがチーム介入を必要と判断した患者さまに支援を行います。具体的には、耳鼻咽喉科医師による内視鏡検査や嚥下造影検査などで機能評価を行い、その結果をもとに言語聴覚士、看護師、管理栄養士など多職種で週1回カンファレンスを実施します。個々に適したケア計画を検討・実践し、食事形態の工夫や口腔ケア、マッサージなどを通じて誤嚥を予防しながら安全に食事を摂ることができるよう支援しています。



嚥下検査用車椅子(コンバーVFX)を用いた姿勢調整

豆知識

① 摂食嚥下(せっしょくえんげ)とは？

食べ物を認識し口に運び、咀嚼して飲み込む一連の過程を指します。

② 誤嚥(ごえん)とは？

食べ物や唾液、胃内容物などが誤って気管や肺に入ってしまうことを「誤嚥」といい、誤嚥性肺炎や窒息を引き起こす可能性があります。



Ⅰ 嚥下調整食の紹介

当院では患者さまの飲み込みの状態に応じて、日本摂食嚥下リハビリテーション学会が提案している嚥下調整食も提供しています。

2-1
嚥下調整食 2-1



0j 嚥下訓練食 0j
1j 嚥下調整食 1j



摂食嚥下機能に合わせた
食事形態での提供



3
嚥下調整食 3



4
嚥下調整食 4



岩見沢市立総合病院精神医療センター デイケア祭



日頃より利用者さまを支えてくださっている院内の皆さまへ感謝の気持ちを込めて、「デイケア祭」を開催いたしました。デイケア祭では、利用者さまがプログラムで培った力を発揮し時間をかけて制作した力作の数々が並び、繊細なクラフト細工、実用的な手芸用品、そして何より根気と技術が必要な手編みのセーターや靴下は多くの職員がその完成度に驚き、様々な作品を購入して笑顔と活気があふれた一日となりました。

私たちは、この創作活動を通して、利用者様が「自分にもできる」という確かな自信を得ていく過程を間近で見えています。作品が売れることで、喜びや達成感を味わい、それが次の活動への意欲につながることを、スタッフ一同、嬉しく思っています。

タコライス、は、利用者さまが主体となって企画・調理を行いました。また、シフォンケーキなどの品々も含め、利用さまが協力して準備し、職員の皆さまへの販売・提供を担当しました。この活動は、計画性や金銭のやり取り、お客さまとの挨拶など、社会生活に必要なスキルを実践的に学ぶ、大切なコミュニケーションの場となりました。

私たち精神医療センターのスタッフは、利用者さまが病状と向き合いながら、地域社会で自分らしく、安定した生活を送れるよう支援しています。

デイケア祭のような活動を通して、利用者さまが様々な方と交流し、社会的な役割を果たす経験を積み重ねていくことは、「リカバリー（回復）」の道のりにおいて非常に重要です。

岩見沢市立総合病院精神医療センターデイケアの活動にご興味をお持ちの方、また、デイケアの利用についてご相談されたい方は、どうぞお気軽に当院メンタルヘルス科にご連絡ください。私たちは、いつでも温かい雰囲気でお待ちしております。

(精神医療センター スタッフ一同)

クリスマス・ロビー合唱コンサート



プログラム

I 今年の定期演奏会演奏曲

- 混声合唱のためのヒットメドレー「LOVE」
ゴンドラの唄・東京ブギウギ・恋のバカンス・瀬戸の花嫁
夜明けのスカット・喝采・どうにもとまらない・愛燦燦
- 混声合唱組曲「富山に伝わる三つの民謡」より
こきりこ

〈幕 間〉ホスピタルクラウンの舞台 ● 演者：ベラミさん

II クリスマスにちなんだ歌

- アルカデルトのアヴェマリア
- マスカーニのアヴェマリア
- 牧人ひつじを(アカペラ)
- ひいらぎかざろう(アカペラ)
- ホワイトクリスマス(独唱：佐藤俊哉副院長)
- 赤鼻のトナカイ
- あわてんぼうのサンタクロース



毎年恒例となっているクリスマス・ロビーコンサートを開催いたしました。毎年夏頃から患者さまや職員に楽しんでいただけるよう準備を進めています。当日は、入院患者さまもご参加いただけるようサービス向上委員会の他、多くの病院職員と岩見沢市立高等看護学院の学生ボランティアにもご協力いただきました。

今回も岩見沢混声合唱団による定期演奏会演奏曲&クリスマスにちなんだ歌を披露していただきました。(プログラム参照)クリスマス・ロビーコンサートの選曲は岩見沢混声合唱団に全てお任せしています。ポスター掲示やデジタルサイネージによる告知で「今年はどんな曲が聴けるのかな“わくわく”するよ。」というお声もいただくほど、楽しみにしている職員も多いです。

クリスマス・ロビーコンサートにご参加いただいた皆さまは、ピアノ演奏の音色と岩見沢混声合唱団の素晴らしい歌声に、癒された時間を過ごすことができたかと思えます。特に佐藤俊哉副院長の独唱によるホワイトクリスマスの歌声に酔いしれた職員も多かったのではないのでしょうか？

ホスピタルクラウンのベラミさんのステージではマジックやバルーンアートを披露いただきました。ご参加いただいた方にはベラミさんからハートのバルーンがプレゼントされました。驚きと笑いのマジックとバルーンアートのステージでは華麗な手さばきに目を奪われるほどです。バルーンアートで作成いただいた大きな“トナカイ”は終演後小児科外来に飾りつけし、外来患者さまにお披露目しました。

アンコールを含めた約1時間のクリスマス・ロビーコンサートは大盛況の中、幕を閉じました。外来受診後の患者さまや入院中の患者さまをはじめ、ご参加いただいた皆さまには感謝申し上げます。ご参加できなかった皆さま、是非次回お越しください。

行事で提供された
メニューをご紹介します!

Event Menu

医療技術部 栄養科

バレンタインメニュー

- ◆ ハッシュドビーフオムライス
- ◆ カラフルサラダ
- ◆ バレンタインデザート



日本でのバレンタインデーの歴史

日本でのバレンタインデーの発祥は神戸といわれています。兵庫県の洋菓子メーカー「モロゾフ」の創業者、葛野友太郎氏がイタリアの司祭だったヴァレンティノからヒントを得て、当時の英字新聞に「バレンタインデーにチョコレートを贈ろう」とボックス入りのチョコレートの広告を載せたことが始まりといわれています。

チョコレートの栄養

チョコレートにはカカオポリフェノールという成分が含まれ、特に高カカオチョコレートに多く含まれています。カカオポリフェノールには、抗酸化作用があり老化や生活習慣病の予防が期待できます。その他にストレスの軽減などにも効果があります。しかし糖分を多く含むものなので食べ過ぎには注意しましょう。

1人分の栄養量

- エネルギー 810kcal
- 塩分 2.5g
- たんぱく質 23.3g(11.5%)
- 脂質 33.7g(37.5%)
- 炭水化物 96.2g(47.5%)

●1日の摂取カロリーの目安:成人男性/2000~2400kcal 成人女性/1400~2000kcal ●1日の塩分摂取目安量:成人男性/7.5g未満 成人女性/6.5g未満 ●三大栄養素適切範囲:たんぱく質/12~15% 脂質/20~25% 炭水化物/60~68%

はあとねっとVol.24をお届けします。

編集後記

新しい年を迎え、新年度からの新たな体制に向けて職員一同準備を進めております。今はまだ寒さと雪に悪戦苦闘している今日この頃です。皆さまいかがお過ごしでしょうか？

病院では、12月16日(火)に岩見沢市立高等看護学院の学生ボランティアの方々にご協力いただき、毎年恒例のクリスマス・ロビーコンサートを開催しました。

岩見沢混声合唱団とホスピタルクラウンのベラミさんによるステージで、懐かしのヒットメドレーやクリスマスソングに酔いしれました。また、ベラミさんの華麗なるマジックやバルーンアートでは、華麗な手さばきに目を奪われる程でした。短い時間でしたがご参加いただきました皆さま本当にありがとうございました。今後も皆さまに楽しんでいただけるロビーコンサートの検討をしていきたいと思っております。

今後も「はあとねっと」を通じて、地域の皆さまに新しい取り組みや診療に関する情報をお届けしていきたいと思っております。

サービス向上委員会